

セルフチェック

セルフチェックでは、補聴器のマイクロホン、レシーバー、内部機器の最適性を確認するための診断テストを実行します。セルフチェックは、補聴器の調整者はInspire上で、装用者はThrive（スライブ）ヒアリング・コントロールアプリ上で開始することができます。

基準設定の確立

セルフチェックを使用する前に、Inspireで基準設定を確立する必要があります。

- 1 左側ナビゲーションバーにある「ユーザーツール」を選択します。 [図1]
- 2 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 3 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 4 「基準設定」をクリックして開始します。 [図1]
- 5 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
- 6 各補聴器に緑色のチェックマーク表示が付いたら、基準設定が確立されたことを示します。 [図2]



図 1



図 2

Inspireでセルフチェックを開始

- 1 左側ナビゲーションバーにある「ユーザーツール」を選択します。
- 2 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 3 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 4 「テスト開始」をクリックして開始します。
- 5 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。

セルフチェックの結果

テストが完了すると、各部品の結果が画面に表示されます。結果にカーソルを合わせると、詳細が表示されます。

- Ⓐ 緑色：合格
- Ⓑ 黄色：基準に達していません。部品を確認してください。
- Ⓒ 赤色：不合格



3

Thriveアプリでセルフチェックを開始

ユーザーが、ご自身の補聴器の状態を Thrive アプリから素早く快適に確認する方法も提供しています。

Thrive アプリでセルフチェックを開始するには：

- 1 「設定」メニューをタップします。
- 2 「セルフチェック」をタップします。
- 3 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
- 4 周囲の雑音を可能な限り無くします。
- 5 「診断開始」ボタンをタップします。
- 6 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
- 7 テストが完了すると、各部品の結果が画面に表示されます。
- 8 各部品をタップすると詳細が表示されます。各部品の詳細画面は下図のとおりです。

